

以上児 第二回 おたのしみデー

令和3年6月28日(月)

子どもは「見る、触る、聞く、味わう、嗅ぐ」の五感を使って遊びながら沢山の事を覚えていきます。遊びの中で触ったり、見たり、感じた事を友達や保育教諭と共感・共有し合い、発見する楽しさから様々なことに興味関心を持ち遊びがどんどん広がっていきます。その積み重ねが子どもの主体性にも繋がっていきます。今年度は一年を通して寒天、氷、粉等子ども達が「やってみたい」と興味を持てるような環境を整え、遊びの場を作っていきます。第二回おたのしみデーでは、前回からの引き続きで「新聞紙遊び」と新たに「寒天遊び」「ウォーターマット」「氷お絵描き」をして遊びました。

新聞紙遊び

前回は新聞紙を自由に破ったり、洋服にしたり等子どもたちの自由な発想で新聞紙に触れて遊びましたが、今回は体を使って新聞紙と触れ合うことが楽しめるよう段ボールで作った囲いを用いて破った新聞紙を入れて新聞紙プールにして遊びました。



寒天・ウォーターマット

食紅で色付けした寒天をジップロックの袋の中に入れて、圧縮袋に水を入れて、袋の中には素材を楽しめるように水風船や柔らかいビーズ等目で見えるようにカラフルな飾りを入れたりしました。袋の中で浮かぶ飾りなどに子ども達は夢中になって触り、全身でひんやり、ぷにぷに等いつもと違った感触に不思議な様子でした。



氷お絵描き

食紅水を入れたキラキラ光るいろとりどりの氷を使って画用紙にお絵描きをしました。画用紙の上で氷を滑らせて、自由に絵を描いていくうちに色同士が混ざると違う色に変化する事や氷の角度によっては描ける線の違いに気付き、子どもの中で氷の冷たい感触だけではなく、新たな発見を楽しんでいました。

